

智頭急行で巡る

三宿満喫デートプラン

2026.5



日程表 (日帰りプラン)

1

8:00 鳥取駅 出発 (普通列車 約1時間)

『大原宿』を散策 (大原駅から徒歩約10分)

8:56 智頭駅 到着

『喫茶グリーン』にて昼食

石谷家住宅、西河克己映画記念館 (智頭駅から徒歩約11分)

15:16 大原駅 出発 (普通列車 約12分)

『石谷家住宅』の重厚な建築や

15:28 平福駅 到着

『西河克己映画記念館』のレトロな雰囲気を楽しみます。

『平福宿』を散策 (平福駅から徒歩約1分)

11:59 智頭駅 出発 (普通列車 約6分)

16:55 平福駅 出発 (普通列車 約1時間)

12:05 恋山形駅 到着 (15分間停車)

17:51 智頭駅 到着 ※乗換注意

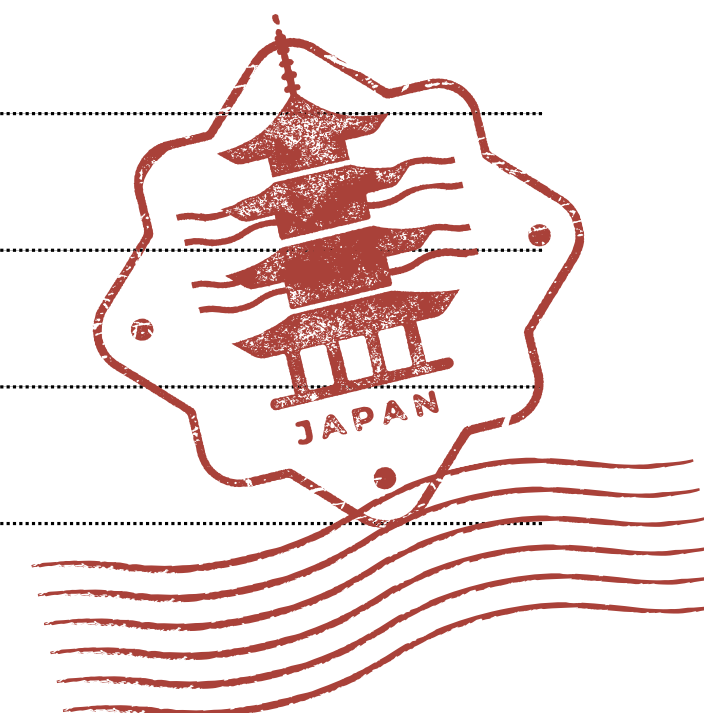
宿場町巡りの合間に、二人のラブラブ写真をパシャリ！

18:18 智頭駅 出発 (普通列車 約50分)

12:21 恋山形駅 発車 (普通列車 約30分)

19:07 鳥取駅 到着

12:53 大原駅 到着



観光スポット紹介

智頭宿編

2

石谷家住宅



江戸時代から300年以上続く商家である石谷家が国内の銘木で建築した重厚な建築物です。美しい日本庭園を有し、歴史を刻んだ材木が映える内装建築を含んだ貴重な和風建築として国の重要文化財として指定されています。

興雲寺



400年以上の歴史を持つ曹洞宗のお寺です。古くは牛臥山の山裾に位置しましたが、1593年の大洪水により喪失し、1625年に興雲寺として現在の場所に再建されました。

諏訪神社



日本で最も古い神社のひとつとされる長野の諏訪大社を総本社にもつ神社です。境内には櫟の大木に混ざって多くの楓樹があり、秋には紅葉の名所となり、地元でも愛されています。俗世から隔離されたような神秘的空間です。

駅舎



当初『因幡山形』という駅名となる予定でしたが、人を呼ぶ「来い」という意味と掛けて住民の強い要望により開業前、『恋山形』に変更し、親しまれてきました。日本に4つある駅名に『恋』がつく駅の1つで、恋が叶う駅とされており、全面ピンク色が特徴的です。ハート型の絵馬やフォトスポットなどがあります。

恋の待合(愛)室



”恋の聖地『恋山形駅』に安心して訪れる事ができる環境を整えたい”という想いで、トイレの新設を企画し、新たな取り組みとしてクラウドファンディングを実施しました。その結果、目標金額を大きく上回る大変多くのご支援と温かい応援をいただき、2026年3月に無事完成いたしました。あわせてフォトスポットも新たに設置し、より多くのお客様にお楽しみいただける場所となっております。

観光スポット紹介

大原宿編

4

本陣・脇本陣



播磨国と因幡国を結ぶ因幡街道は、古くから人馬が往来する、交通の要路でした。江戸時代は鳥取藩主の参勤交代の道となり、宿場には本陣・脇本陣・問屋が置かれました。古くから政治、経済、文化に、さらには軍事の要衛として利用されてきました。真っ直ぐな道に伝統建築が並んでおり、写真映えするスポットとなっています。

武蔵の里



稀代の剣豪・宮本武蔵の生誕地で、武蔵の生家・青年期宮本武蔵像・武蔵の墓・武蔵神社など宮本武蔵にまつわる名所が点在しています。武蔵資料館には、NHKの大河ドラマで使用された衣装や、武蔵真筆の達磨頂相図、自作の小柄、頬当など、絵画、彫刻、金工の気迫を込めた作品を見ることができます。

観光スポット紹介

平福宿編

5

川座敷・土蔵群



わずか30年で城下町としての用を終えた平福は、その後、江戸時代には因幡街道最大の宿場町として栄えました。千本格子や蔵造りの家並み、佐用川沿いに点在する土蔵や川座敷が川面にしっとり映え、そぞろ歩けば情緒豊かな歴史街道に…。柔らかな日射しが土塀を照らせば、時代絵巻を再現し、訪れる人の心をなごませることでしょう。

平福本陣跡・陣屋跡



江戸時代、因幡街道の宿場町・平福の中心として栄えた歴史スポット。本陣は鳥取池田藩などの大名が宿泊する格式高い施設、陣屋は地域を治める行政の拠点として重要な役割を担っていました。現在、当時の建物は残っていませんが、石垣や敷地の面影が残り、周囲の町並みとともに往時のにぎわいと歴史を感じることができます。